

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室きらり大阪狭山金剛校			
○保護者評価実施期間	2025年11月15日 ～ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	63	(回答者数)	42
○従業者評価実施期間	2025年11月25日 ～ 2025年12月19日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全職員がすべての児童の支援を行うことができる。また、状況を見て行動することができる。	支援内容の共有を意識し、次の支援へとつなげている。また、利用者様や初めて来所される児童・保護者様、関係機関の出迎え・見送りを全員で行っている。	報告・連絡・相談等を行うなど、職員同士のコミュニケーションの機会を高めていく。
2	児童や保護者様に寄り添った関わりを持つことで信頼を得ている。	振り返りの時間を大切にし、保護者様の相談援助・家族支援などを行い、次の支援内容へつなげたりしている。	定期的に支援見学をしていただく機会を作り、振り返りや家族支援等へつなげていく。
3	多様な支援プログラムを提供することができる。	児童一人ひとりを多角的な視点で分析し、アプローチを行うことで、個々に応じた支援内容を提供している。	各指導員の支援ツールや方法を共有する機会を設け、支援内容の充実・質をアップさせていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様への危機管理（防災・感染など）に関する周知	実施予定・実施の様子などを周知ができていない。	教室内への掲示やHP等を使い実施の様子の周知や参加の案内を行っていく。
2	教室の様子等を発信する媒体が少ない	HPや振り返りでは行っているが、その他の媒体自体を活用していない	HP以外の媒体も活用し、幅広く教室の様子などを発信していく。
3	事業所内のスペースを上手く活用できていない	支援に入れ替わりの際に利用者様の動きを把握できていない時がある。	普段から職員間で情報共有などを行い、臨機応変に対応できるようにしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」大阪狭山金剛校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 63

回収数 42

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	8	1	1	利用開始したばかりでまだわからない	限られたスペースで児童の安全面等に配慮しながら行える内容を考えていく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	38	2	1	1	親にその日の様子を報告しながら待っている子どもの対応していることがあり、大変だと思う。	振返りの方法を工夫（支援内容や児童の様子などの伝え方・保護者様にお話を聞く際の切り出し方など）し、限られた時間内で、できるようにしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	5	1	4	特に問題に感じている点はありません	今後も児童の安全面・衛生面に配慮した環境設定等を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	40	0	1	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	41	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	40	0	0	2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	42	0	0	0	いつも親からの意見も取り入れていただき感謝しています。	振り返り等の中で、保護者様の思いなどもお聞きできるように心がけていく。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	40	0	0	2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	42	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	41	1	0	0	いつもいろいろと工夫してくださっていると思います。	児童の様子を確認しながら支援内容を工夫したりしていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	3	13	16	・特に交流や機会を求めているので、これまでの支援内容で満足しています。 ・そのような機会があるのか、参加したことがないため分からない	地域イベント等のチラシを教室内に掲示して地域交流の機会を作っていく。
保 護	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	39	2	0	1	丁寧な説明を受けました	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	40	2	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	7	4	8		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	41	0	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	37	4	1	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	41	1	0	0		

者 へ の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	7	7	19	・掲示物やお知らせ等でもしかしら目にしたことがあったかもしれませんが、わからないにしました。 ・参加したことがないので、そのような場があるのか分からない ・保護者官交流前回は行けず残念でした。次回は期待します。	保護者様同士がつながる機会を持てるような会を開けるようにしていく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	2	0	6		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	39	2	0	1	毎回お話があり、できていると思います。	今後も振り返りの時間などを使い児童の様子をお聞きしていく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	6	3	12	確認したことがなく、分からない。	多くのツールは活用できていないが、空き状況や教室の様子などの発信を今後も定期的に行っていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	38	2	0	2	机の上に指導員の私物が（スマホ）置いたり、個人情報がでたままＰＣ開いてたり、不安になります。	スクリーンセーバーの設定や、支援等で離席の際に個人情報を閉じるなど個人情報漏洩にならないように意識していく。また、各職員 の私物などについてもご利用者様から見えない所へ保管するなどしていく
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	5	0	9	親が、わりと近くに居るので、何かあれば、親が駆けつけるかと。	保護者様のご協力もいただきながら児童が安心して過ごせる環境作りを行っていく。 児童には手指消毒や検温などをしてもらい感染症対策を行っていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	6	1	17	・恐らくきちんとされていると思います。 ・訓練の日時に通ったことがないのでわからないにしました。 ・参加したことがなく分からない。	保護者様にもわかるような掲示方法等を考えていく
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	5	0	4	誰でも出入りできる（施錠なし）のは少し気になる。	営業時間中は施錠を行っていく。ご利用者様が来所時にはチャイムを鳴らしてもらうようにドアに案内文書を掲示する。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	8	0	4		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	42	0	0	0		児童の様子等に合わせて、指導員の表情が分かるようにマスクを外すなど、安心できる配慮をしていく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	40	2	0	0	毎回とても楽しみにしています。	今後も児童が楽しく過ごせるような関わりを持っていきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	40	2	0	0	・いつもありがとうございます。 ・丁寧に支援していただいています。 ・楽しく通えていることに感謝しています。	今後も児童のご成長のサポートができるように心がけていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」大阪狭山金剛校				
		公表日 2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		○		以前と比べると安全性は確保されているが、振り返り時や入れ替わりの時間帯で危ないなと感じるところはある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		お子様によっては周りに物があるとそれが目に入り、本来の力を発揮できないこともあります。そういったお子さんはできるだけ物をあらかじめ排除しておくが、ご利用者様が多い時はその環境を整えることが難しい時もある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		お子さまの状況によってだが、学校との情報共有などは行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		特に就学後から利用を開始されたお子さまについては、就学前に利用していた園などとの連携はほとんど取れていない。必要に応じて取ることができるように努めたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		地域交流は出来ていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		地域交流は出来ていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		協議会への参加が出来ていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		保護者様同士で交流をもてる機会は設けているものの、きょうだい同士で交流する機会というのは設けられていない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		お子さまの状況を把握するとともに、事業所での緊急時の対応方法・かかりつけ医の把握もしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	該当する児童が居ないため、対応は出来ない。	該当する児童が居ないため、対応は出来ない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			